

令和4年度 地域懇談会（第5回） 福生のハコモノ（公共施設）を考えよう
 ～ 人がつくる暮らしと公共施設 ～ 実施報告

1 事業の概要

公共施設の現状と課題、福生市の取組方針について市民との情報共有や合意形成を円滑に進めるため、助言者（ファシリテーター）の進行により、人・時間帯・コミュニティに着目し、将来の暮らしを物語の様に考え、公共施設で提供されるサービスの向上に向けて、その接点を探っていくワークショップを実施しました。

日時	会場
令和5年2月4日（土）午後2時から午後4時まで	もくせい会館 3階会議室

参加者区分	人数	参加者合計	人数
一般参加者（市内在住・在勤）	10名	参加者合計 （見学者）	20名 6名
都立福生高校 生徒	6名		
都立多摩工業高校 生徒	4名		

2 懇談会の内容

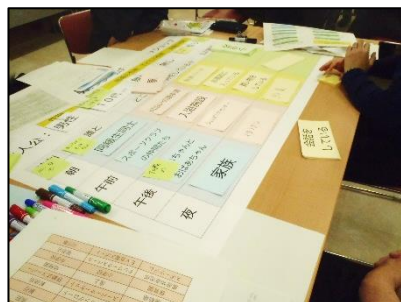
- 冒頭、福生市から「公共施設の現状と課題、福生市の取組」の説明を行いました。
- その後、ファシリテーターの小澤はる奈氏（NPO法人環境自治体会議環境政策研究所理事長・元福生市基本構想審議委員・元福生市公民館運営審議会委員）による進行により、将来の暮らしをイメージし、その暮らしと公共施設との接点を、ワークショップ形式にて参加者同士で議論していただきました。



- ワークショップの様子

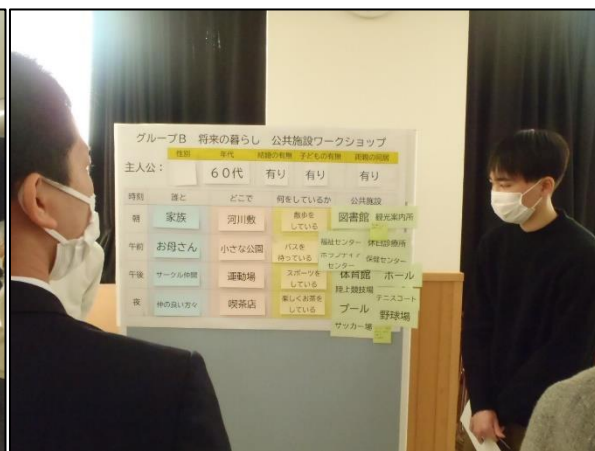
まずは、グループに別れ「日常の暮らしで楽しいことや嬉しかったこと」をテーマにした自己紹介の後、将来の暮らしについて検討しました。具体的には、ワークショップの前半として、仮想の主人公を設定し、将来の暮らしについて「誰と」「どこで」「何をしているか」を「朝・午前・午後・夜」の時系列に分けてカードを選択する形で検討し、その暮らしを選択した理由も含めて議論しました。





ワークショップの後半では、前半で考えた「将来の暮らし」の場面が「どのような場所で実現できるようになると良いか？」という観点に着目し、それが実現できる公共施設のカードを選択する形で検討していきました。同時に、選んだカード(公共施設)について、利用方法やあったら良いと思うサービスに関する補足を付箋に書き、貼り付ける形で発表資料を作成しました。

発表資料の完成後には、検討した「将来の暮らしと公共施設との接点」について、グループごとにポスターセッション形式で発表して頂き、他のグループと意見交換を行いました。



その後、全員でのフリー時間として、各グループで作成した模造紙の見学・意見交換を行い、最後にファシリテーターによる講評・まとめを行いました。



3 ワークショップで作成された「将来の暮らしと公共施設との接点」

<グループA>

グループA 将来の暮らし 公共施設ワークショップ							
主人公：		性別	高校生 2年生	年代 受験前	結婚の有無	子どもの有無	両親の同居
エピソード		男性	10代	以下	無し	無し	46歳の両親 有り おじいちゃん おばあちゃん 別居
時刻	誰と	どこで	何をしているか	公共施設			
朝	オンライン を体 な... オンライン 同級生同士	川沿いの遊歩道	朝練している	小学校 市民が 使える プールが ある。			
午前	スポーツクラブ の仲間たち	入浴施設	お風呂に 入っている	体育館 入浴施設 が併設			
午後	友達と	カラオケ	おそんじいる	児童館 高校生 の居場所			
夜	70歳の おじいちゃん おばあちゃん 家族	ショッピングセンター イタリアン	買い物 をしている	福祉センター			
			夕食	市民農園			

<グループB>

グループB 将来の暮らし 公共施設ワークショップ

		性別	年代	結婚の有無	子どもの有無	両親の同居
主人公：			60代	有り	有り	有り
時刻	誰と	どこで	何をしているか	公共施設		
朝	家族	河川敷	散歩をしている	図書館	観光案内所	
午前	お母さん	小さな公園	バスを待っている	福祉センター	休日診療所	
午後	サークル仲間	運動場	スポーツをしている	ボランティアセンター	保健センター	
夜	仲の良い方々	喫茶店	楽しくお茶をしている	体育館	ホール	
				陸上競技場	テニスコート	
				プール	野球場	
				サッカー場		

<グループC>

グループC 将来の暮らし 公共施設ワークショップ

		性別	年代	結婚の有無	子どもの有無	両親の同居
主人公：		女性	40代	有り	有り	近くに居住
時刻	誰と	どこで	何をしているか	公共施設		
朝	お父さんと子ども	ベッド	ゆくり寝ている	市営住宅		
午前	一人で	川沿いの遊歩道	散歩をしている	ドッグラン		
午後	夫婦	喫茶店	富士山を見ている	図書館		
夜	同級生同士	屋上	ラゲリーの映画を見ている	高校		

<グループD>

グループD 将来の暮らし 公共施設ワークショップ					
	性別	年代	結婚の有無	子どもの有無	両親の同居
主人公：	男性	30代	有り	無し	無し
時刻	誰と	どこで	何をしているか	公共施設	
朝	犬	川沿いの遊歩道	散歩をしている	公園	
午前	夫婦	商店街	買い物をしている		
午後		入浴施設	お風呂に入っている	温浴施設	
夜	元恋人	喫茶店	会話をしている	カフェ	

4 ファシリテーターからの講評（まとめ）

今回のワークショップでは、グループごとに異なる主人公を設定し、その人の暮らしをイメージすることを起点に公共施設との関わりを整理していただきました。

年代・性別などの属性がまったく異なる主人公でしたが、身体を動かす場面、自然を感じながらリラックスする場面を盛り込んだグループが多くありました。また、家族や友人・知人とそうした時間を過ごすことに楽しさ・幸せを感じる、ということが、今回のメンバー全体に共通する思いであることが見えました。

出かけた先で様々なことがワンストップ的にできると良い、という意見もありました。今回の作業結果を総合すると、例えばスポーツ施設を中心にいくつかの機能があり、身体を動かした後にゆっくりできて、食事や文化的活動も楽しめる、そのような複合的な施設のあり方が歓迎されるのではないかと感じました。

ワークショップに入る前に、将来的には人口が減少すること、特に若年層の減少幅が大きいこと、これをカバーするように情報通信技術などが発達していくであろうことなど、将来の状況変化について少し情報提供をしました。しかし、そのような社会変化を前提とした発想ではなく、現在の延長で発想する方がほとんどであったようです。社会が変わっても、人の幸せな暮らしのイメージは大きく変わることはない、ということの表れかもしれません。



一方で、人口減少に伴って厳しい現実が待ち受けていることも事実です。高齢化の進展で、施設の整備と合わせて移動手段の確保も必要になるでしょう。新しい公共施設が整備される頃には様々な社会の変化があり、その変化に対応するためには現在の暮らしの延長では解決できない地域の課題や暮らしのニーズが生まれていることも考えられます。人口が減少することでどのような変化があり得るのかをよりリアルにイメージした上で、公共施設について考えたいところです。

次の段階として、将来の社会課題を想定しながら、その課題解決に繋がる、あるいは課題がある中でも適切に運用できる公共施設のあり方を、踏み込んで議論していくことも必要ではないかと感じています。

今回は比較的若い世代や、高校生も大勢参加してくださいました。いま議論している公共施設のメインユーザー層になっていく世代が、自分事としてこうした機会に参加していただけるよう、開催・展開方法を工夫していけると良いと思います。

5 さいごに

今回のワークショップで考えたアイデアや参加者アンケート等で頂いたご意見は、個別施設計画の改定に反映していきたいと考えております。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

6 参加者アンケート（感想）

番号	コメント
1	年齢に限らず、複合施設が好評だったことは驚いた。
2	正直、もっと固い印象なのかなと思っていましたが、そうではなく遊び的なグループワークで非常にやりやすかったです。また、地域の公共施設について改めて考えさせられ、良い経験になりました。
3	今までこのような懇談をしたり参加したことが無かったため、とても勉強になりました。また、他者の意見も聞くことにより「こうする方法ややり方もあるんだな。」と、とても考えることができたと思います。
4	今回こういう場で話し合いをしてみて、何十年後の自分の生活など多くのことが考えられ、色々な発見ができました。とても良い時間になりました。
5	貴重な時間をありがとうございました。今後の福生の在り方について少し勉強できたように思えます！！“若い力が未来を創る！！”本日参加していた高校生の皆様に少しでもサポートできるよう、私も頑張ってます。
6	様々な年代の意見を聞くことができ、自分の考えに無いことが聞けてよかった。また、それに伴う新たな課題が見えたので、まず、自分の身の周りからより良い生活を目指し、貢献したいと思いました。
7	グループで考え、楽しくワークショップを行うことができました。ありがとうございました。グループだけではなく、個々人で考える物語も作れたら、なお良かったと思います。

番号	コメント
8	人と人がつながり合える複合施設を。高校生らの居場所を増やしてはどうか。
9	感想:将来についてや公共施設について学べた。まだ将来のことは思い浮かばないけど、これからは将来のことについて考えていけたらなと思った。
10	中央体育館の要望：電気がまぶしい、冷暖房をつけてほしい、トイレのスリッパとタイルをかえてほしい、器具の安全確認（点検）をしてほしい、冷水機をつけてほしい。
11	初めてこのような地域の意見交換会に参加しました。固いイメージがあったのですが、良い雰囲気でもでき、幅広い年齢層の方々の意見を聞けることができ貴重な経験ができました。また参加したいです。
12	初めてこういう会に参加してみても最初はとても緊張していたけど、グループワークをしていくうちに慣れてきて自分の考えを伝えることができたので良かった。
13	面白い形でのワークショップで、楽しく公共施設のことについて考えることが出来ました。またの機会があれば、是非参加させていただきたいです。
14	改めて、福生に住んでいないのに、熱く語れる時間がある事に感謝しています！今の過ごし方も大切ですが将来を見るのも大切！！
15	色々な年代の人たちが集まって、交流したりできるような施設や、色々なことが1カ所でできたり、新しいことや娯楽ができるような複合的だったり、効率的な施設ができたらいいなと思いました。
16	自分たちだけでは思いつかなかったアイデアなどをいろいろな人から聞け、こんな考えもあるのかと知ることができて、良い経験ができました。
17	今の福生の事について知れて良かったし、福生より良くするための活動ができてうれしかった。グループで話し合っ発表するのも楽しかったし、他の人の発表を聞いて、そういう考えがあるんだと新しい考え方が知れて良かった。
18	夢のある施設を考えられて楽しかった。一箇所にまとめると、移動の問題が出てくる。
19	本日はありがとうございました。日常生活が見つめ直せました。40年後はいませんが。公共施設が高校生の居場所になったりする他、普段考えられない様なことが知れて良かったです。
20	高校生が10名参加しているのは素晴らしいことです。福生の未来を若い世代の人たちが関心をもっていることがわかりました。（将来は安心できるでしょう）